



## (第 169 回友の会) 枚方市 穂谷自然観察会



～穂谷の里山～

日 時 2019年6月9日(日)

場 所 枚方市 穂谷

天 候 晴

参加者 一般46名(内子供2名) スタッフ27名 合計73名

枚方市の東部「穂谷」で初めて観察会を行いました。近鉄新田辺駅と京阪枚方市駅のバス停にスタッフを配置して、参加者を案内しました。枚方市駅で2名うまくバスに乗り継げなかった方がいらしたため、スタッフ2名が残り無事合流できました。

穂谷公民館前で集まり、リーダーから「貴重な植物もあります。勝手に採取をしたり、持ち帰らないようにしてください。今日は店開きをしません。わからないことがあれば、その場で近くにいるスタッフに尋ねてください。」と注意がありました。

スタートしてすぐに坂道を上ります。ミヤマウメモドキ、ノウゼンカズラ。生垣にノブドウ、アオツツラフジ。足元にはブタナ、ヒナギキョウ、ダンダンギキョウがあります。ミスジチョウが飛んでいます。ロウバイには大きな茶色い実がついています。ナナミノキ、コウヤボウキも見られました。

電柱のそばにヌルデ、ヤマウルシ、ヤマハゼが揃って生えています。3種の違いをスタッフから説明を聞き観察をしました。日当たりのよい畑ののり面にママコナ、カワラマツバ、チガヤが見られます。白いホタルブクロの花が咲いています。木本ではサザンカ、ガマズミ、クサギもありました。

手入れがされ明るい竹林の両脇にはクヌギ、スギが植栽されています。竹藪を抜けた畑の畔でツボミオオバコ、オオバコ、の違いの説明をスタッフから聞き観察をしました。ウシハコベ、カラムシがあり、クリが今花を咲かせています。ウグイスの鳴き声が聞こえます。イチモンジチョウも飛んでいました。手入れされた竹林の切通にはアリジゴクの巣が見られました。広い開けた畑のそばにはミゾソバ、セリ、ヤブムラサキ、ワレモコウ、ヌマガエル。ため池がわりの大きな水槽にトンボのヤゴがビニールの上で上がって来ていました。段々畑の側面にソクシンラン、ウツボグサ、ショウジョウバカマなども。溜池にはヒシ、アキノウナギツカミ等。スズメバチがいたので回避して進みます。耕作放棄地を抜けると開けた場所に出ました。チャノキにたくさんの毛虫がついています。



出発前に観察会の注意がありました



アリジゴクの巣がみられます



ヌルデ、ヤマウルシ、ヤマハゼ  
それぞれの特徴は？

昼食後スタッフ2名からそれぞれ蝶の話、イモムシの話が聞けました。マイマイガの幼虫の愛称は「こまったちゃん」。前から顔をみてください。昆虫も本当にたくさんいました。多数の生き物に出会えた一日でした。

(文責 海老原、編集 齋藤)



ママコナ (しろい部分が米粒に見えるところから名前が付けました)



スタッフから蝶と食草の関係の話が聞けました



ツボミオオバコ



ツボミオオバコが群生しているところでオバコ、ヘラオオバコ3種を比べて説明を聞きました



日当たりのよい斜面はお花畑



田んぼの畔は生き物の宝庫



コムスジ



紅色がきれいなベニスズメ



おしゃれな蛾 スジベニコケガ



友の会参加者(中学生)からカエルの説明を聞きました。教えたり教えられたりの楽しい時間